

祝 卒業おめでとう

第77回卒業証書授与式 2024.3.6

卒業生 160名



東海中新聞

NO. 387

令和6年3月号

岡崎城南ロータリークラブ 環境教育賞受賞 自然科学部

信無くば

立たず

校長

東海中学校第七十七回卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。義務教育九か年の課程を修め、希望を胸に巣立つ皆さんの前途に、幸多かれと祈ります。

さて、令和五年度は、地元岡崎が大河ドラマ「どうする家康」にわいた一年となりました。郷土の偉人、徳川家康は、その生涯で数多の危機をくぐり抜け、天下人となりました。中でも、作中の第九話「守るべきもの」は私が好きなエピソードの一つです。

後に鉄壁と呼ばれた徳川家臣団を二分する争いとなった三河一向一揆。「敵は身内」という点で、家康にとって足元を揺るがす大きな危機だったと言えます。折しも、家康の祖父・清康は、聡明な君主であったにもかかわらず、家臣の裏切りによって命を落としましたと言われています。これが再び家康を襲うとなると、徳川家そのものの存亡が危ぶまれる事態でした。

「もう誰も信用できない」

塞ぎ込む家康に、忠臣鳥居忠吉が、道を説きます。

「一つの方法は、主君として、家臣を信じる。もう一つは、謀反と疑わしき者は全て切り捨てる」。

ここで家康は、前者を選びます。すると、主君に疑心暗鬼だった家臣は次々に家康の後を追いつき、次第に一揆は収束に向かいました。さらに家康は、謀反を詫びて帰参を申し出る者に対しても、その罪を不問としました。これが他の武将であつたら、おそらくこうはならなかったでしょう。人を信じる、信じ抜くという家康の固い決意が家臣を動かしたのだと思います。

孔子の「論語」に、「民信無くば立たず」（民の信頼がなければ、政治も国も成り立たない）という言葉があります。これは、為政者に対しての言葉というだけでなく、私たちの日常にも当てはまります。

卒業生の皆さんは中学校の三年間で周囲の人との間で多くの信頼関係を築いたことと思います。互いに相手を信じ、尽くす。卒業後も、新たに身を置く環境で。そしてさらにその先も、信じ合える関係づくりを大切に。

三年間の思い出

やるからには楽しんで

三年一組

中学最後の文化祭。私は合唱コンクールが一番心に残っています。金賞を目標に日々の練習や、公園で声出しをし、たくさん練習を頑張りました。声がかすれて歌えなくなるくらい、一人一人が真剣に取り組んでいました。本番当日、「やるからには楽しんで」をテーマに、今までで一番良い「証」を歌うことができました。結果は金賞。大好きな一組で金賞をとることができて良かったです。みんなと先生にありがとうの気持ちでいっぱいです。

東京MAPS

三年一組

三年生になって新しいクラスになってすぐに修学旅行がありました。新しい仲間と一緒に生徒が主体となつていろいろなことを決めていきました。また一日目の鎌倉、二日目の東京デイズ、ニードランドでは少人数で行動することが多く、将来に向けた準備をすることができました。そして仲間とより仲を深められ、思い出に残る修学旅行になりました。

成長

三年二組

二、三年生と生徒会役員としての活動を通じて色々な事を経験しました。人前で話す事が苦手だった私でしたが、全校生徒の前に立ち、話をする事ができるようになりました。また、行事ごとに内容を考え、提案するなど、人任せでなく責任をもつ事の大切さを学びました。自分が成長するきっかけになった生徒会活動は、とてもいい経験になり、楽しい時間でした。これからも行事などの活動に参加し、より成長していきたいです。

スキー学習で学んだこと

三年二組

僕がこの三年間を通して一番に残っている出来事はスキー学習です。今までスキーの経験がなく、うまく滑るか不安でした。最初はうまく滑ることができませんでしたが、徐々に滑ることができるようになり、そこで初めて滑る楽しさ、冷たい風の気持ち良さ、雪景色の綺麗さに気づくことができ、スキーの楽しさを知ることができました。このスキー学習を通し、新しいことに挑戦する大切さを学ぶことができました。

勇往邁進

三年三組

二〇二一年、春。真新しい制服に身を包み、私たちは東海中学校に入学しました。東海中学校は四つの小学校が集まることもあり、周りには見慣れない子ばかりでとても緊張しました。そんな中、新しいことにチャレンジしたいと思い、学級代表に立候補しました。学級代表になって、大勢の前で話すことや、まとめることはとても大変でした。しかし、徐々にクラスがまとまっていくことにやりがいを感じました。

学級代表を通じてリーダーシップをとることができるようになりました。この経験を生かして、将来活躍できるようにがんばりたいです。

みんなで岡特交流

三年三組

一年生での一大行事、岡崎特別支援学校との交流は、コロナ禍に行われませんでした。感染対策のため直接交流はできず、例年と違う方法で実施するということになりました。

僕は実行委員を務め、他にも数多くの人が集まり、話し合いをしました。限られた条件の中でみんなで思案を続け、「学校紹介動画を送り合う」「オンライン通話をする」といった手段を取り、無事お互いを知ることができ

きる交流となりました。

ここで学んだことを共生社会の実現へ今後の将来へ生かしていきたいです。

新しい体育大会

三年四組

私の一番の思い出は、体育大会の応援合戦です。三学年縦割りで協力した応援合戦は、これまでにないやりがいを感じました。さらに競技応援も白熱したのは、実行委員を中心に縦割学級で振り付けを練習し、タオルを使って一体感を生むことができたからだと思います。

応援合戦を通じて、自分たちだけでなく、後輩と手を取って学校を盛り上げていくことの楽しさを実感できた最高の体育大会でした。

自信の大切さ

三年四組

僕は二年生の冬頃、バレーボールの岡崎市選抜に選ばれた。選抜に選ばれる前は自分に自信がなく、仲間に対して助言をすることができなかった。しかし、監督にスパイクについて褒めていただき、自分に自信をもつことができた。それからは仲間達の間でも掛け声が増えてきて、その結果、チームの雰囲気も明るくなり、団結力が高まった。この経験を生かし、周りの人に自信を与えられる存在になりたい。

贈る言葉

やるからには楽しんで

三年一組担任

「やるからには楽しんで」この三年間、何度この言葉を使ってきたでしょうか。

一見陽気に見えるこの言葉、実は使道は限られてきます。生きていければ、やりたくないこと、勇気が必要なこと、できれば逃げ出したいこと、そんなことに出会うかもしれません。そんなときにこの言葉をつぶやいてみてください。

人生はここからがおもしろい。考え方ひとつで世界は輝いて見えます。この美しい世界を楽しむ君たちの姿に想いを馳せ、今、送り出します。

Only a thinking changes your world. どうか行く先、生きるからには楽しんで！ アディオス アミーゴ！

幸せな人生を！

三年二組担任

これから自分で決めた道を選んでいくなかで、楽しいこともあれば、つらいこともあるでしょう。ずっと楽しいこと

が続くことはありません。逆を言えば、ずっとつらいことも続きません。人生は山あり谷ありです。

そんな人生をこれからも歩み続ける君たちですが、どうか幸せな人生を送ってください。幸せのあたりは人それぞれです。だから、人と比べるのではなく自分の幸せを大切にしてください。

四月からはそれぞれが置かれた場所で活躍していくことを願っています。君たちがつけているエネルギーを思う存分發揮してってください。これからも応援しています。

大丈夫

三年三組担任

カウントダウンカレンダーが二十日を迎えるころ、学級のあんな人が言いました。

「このまま、卒業せずにずっとみんなと一緒にいたい」と。「私も」という言葉がのどまで出かかって、ぐっくらえました。

四月になればあなたたちは、新しい環境に進みます。喜びや期待にあふれると同時に、不安や悩みを抱いている人も多いかもしれません。でも大丈夫。隣に座る誰かのことを、自分のこと

ように大切にできるあなたたちは、人から愛され、応援されます。あなたたちのことが大好きな、私が保証します。だから自信をもって、最初の一步を踏み出してください。

ご卒業、おめでとうございます。

人の夢は終わらない

三年四組担任

今年で四十になる私だが、夢は尽きない。君たちが勧めた本や動画をすべて見たい。

満漢全席を食べたい。富士山に登りたい。数学を大学で学びたい。大小あちの中には、まだ夢がない、自信がない人もいる。しかし、やりたいことはいっぱいあるはずだ。そのやりたいことをより多く実現するために今がある。よくばりだっという、人と違ったってほしい。ぜひ君のやりたいを大切にしたい。五年後、君たちの叶えた夢と次の夢を聞けることを期待している。卒業おめでとう。

卒業おめでとう

八組担任

卒業おめでとうございます。あつという間に一年が経ちました。みんなと過ご

したのはたった一年ですが、三年生にとっては最後の一年であり、私にとっては最初の一年でした。お互い、忘れられない時間になりましたね。楽しかったです。ありがとう。

「できるようにになりたい」と机に向かう姿は何より素敵で、その頑張りが実を結んだときは、私も勇気をもらいました。これからも、周りに勇気を与える人でいてください。

たくさんの方に包まれますように。

これからも喜びを与える人に

九組担任

卒業生の皆さん、今日のこの日を迎えるまでに、どれだけ多くの人があなたにかかわってくれたでしょうか。困っているあなたを支えた人、あなたとともに喜んだ人、あなたの思いに寄り添ってくれた人。あなたと同じ空間で過ごした人、言い争いになっても、何度でもあなたに話しかけてくれた人……。たくさんの方があなたの卒業までの日々にかかわり、今日のこの日を喜んでくれます。あなたたちとの毎日は、大きな喜びでした。これからも、たくさんの方に喜びを与え続ける人でいてください。これからもずっと応援しています。

よりよい人生を

三年副担任

卒業おめでとうございませう。

一年前、三年生の教室には当時の三年

生が驚くほど、活気のある皆さんの授業中の声が聞こえてきていました。

三年生になり、とても元気な学年というよさはそのままに、上級生としての落ち着きを感じさせる素敵な学年になりました。

朗らかな皆さんと授業でたくさん笑った一年間でした。今後も人としてさらに磨きがかかり、笑顔の多い人生となることを願っています。

出合いを大切に

栄養教諭

笑顔が素敵なみなさんのことが大好きです。ともに過ごした一年は毎日が幸せでした。

人生では、たくさんの人と出会います。出合いを大切にしてください。その出会いには、必ず意味があります。

みなさんには、助けてくれる人、応援してくれる人がたくさんいます。苦しいとき、つらいとき、周りの人が必ず力を貸してくれます。失敗を恐れず、

気になったら何でも挑戦してみてください。たくさんさんの経験を積んでください。それが自分の宝物となり、幸せを呼んでくれます。

みなさんの人生が幸せで溢れますように。ご卒業、おめでとうございませう。

お祝いメッセージ

かけがえのない先輩との思い出

一年四組

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。先輩方と過ごした一年は、とても楽しい日々でした。特に部活動の先輩方にお世話になりました。

私がアーチェリー部に入部当初、打ち方も何もわかりませんでした。そんな時、先輩が優しく声をかけてくれて、いいねいに教えてくれました。

また、体育大会では、みんなが盛り上がるようにと、声をたくさん出してくれました。私達は先輩方に様々な場面で支えられている事を感じました。

とても頼れる、優しい先輩方なのでもう会えないと思うと寂しく感じます。先輩方と過ごした日々は、私にとっかけがえのない思い出になりました。本当にありがとうございます。

先輩の背中を見て

二年三組

私が所属している女子バスケットボール部は、いつも元気でとても楽し

くいられる部活でした。それは、先輩たちがいたからです。先輩たちがどの場面でも声を出して、チームメイトが困っていたら声をかけて協力できるように導いてくれました。私は先輩たちの姿を見て、自分のプレーだけでなく、助け合っていくことが大事だと学ぶことができました。チームを引っ張ってくれて本当にありがとうございます。

感謝

二年二組

僕は剣道部の活動を通して、先輩たちに様々なことを教えていただいて成長することができました。打ち方や礼儀・作法など、丁寧に指導してくださいました。先輩たちが指摘してくださいました。技術的な箇所は重点的に直そうとして、今はかなり改善することができました。実際、試合の内容も前よりよくなりました。二年間という短い間でしたが、部活動での思い出は山ほどあります。ありがとうございます。

市民駅伝

仲間

女子駅伝部主将

三年生は西三河駅伝後、入試に向けて引退することが多いです。私はこれまで共に頑張った仲間と市民駅伝までやり遂げたいと考えていました。しかし日程の関係から全員で臨めなくなり

ました。そんな時、引退した仲間が話を聞き、参加できない仲間から襷を引き継ぎ、市民駅伝を走ってくれました。参加できた、やり遂げられたという思い以上に支え合える素晴らしい仲間をもてたことに誇りを感じます。本当に三年間の環境で走れたことに感謝しかありません。長い間応援ありがとうございます。

二年スキー合宿

初めてのスキー

二年一組

私は初めてスキーをしました。一日目は転び方などの説明を受けて二日目から本格的に滑りはじめました。二日目の午前は止まらなくて転んでばかりいましたが、インストラクターさんから板をハの字にすると止まるとアドバイスを受けてからは転ばなくなりました。三日目の最終日になると自分の思うように滑ることができました。とても楽しい思い出を作ることができました。

またスキーをしたいと思いました。



一歩前進

二年二組

スキー学習で立志の式を行う前は、僕は将来のことについて具体的な目標が決まっていませんでした。そのため、もはややした思いがあつて勉強に身が入らないときがありました。しかし、立志の式を通して、これから自分自身がどんな人間になっていきたいかを考えることができました。そこで自分の決意が固まり、自分の目標が見つかりました。

これからは、自分が立てた誓いを念頭において、勉強やスポーツに向き合つて努力していきたいと思ひます。

立志の式を通して

二年三組

立志の式でのスライド、おうちの方へのインタビューを通して、今と昔の自分の違いや、育てる中でうれしかったことなど、普段は知ることのできない家族の思いを知ることができました。これらのことを受けて、自分の成長や家族の愛情、そして多くの人に日々支えられているということを改めて実感しました。これからは、そういった方々への感謝を忘れず、前向きに未来へと歩んでいきたいと思ひます。

夜企画実行委員を通して

二年四組

僕はスキー学習一日目に行われた「夜企画」の実行委員になりました。

夜企画を計画している中、急な予定変更などがあり、準備が遅れてしまいました。なんとかスキー学習当日までに間に合わせて、本番を迎えることができました。

本番では企画したミニゲームのルールが上手く伝わらないハプニングもありましたが、無事すべてのクラスが出し物を発表し、みんなに楽しんでもらえたと思ひます。

今回、僕は夜企画の実行委員を経験したことにより、仲間と一つの目標を達成することの喜びと大切さを学ぶことができました。



教育随想

やまなみ

なりたい自分の姿

第二学年主任

一月二十二日、スキー学習で二年生の生徒が立志の式に臨んだ。この式は、日本で古くから行われていた元服にあたる儀式を行い、『志』を立てて人生の指針と強い意志を表明し、前向きに自己の将来を設計しようとする力を培うものである。立志の式の中では、生まれたときから現在の自分を振り返り、今後どういう大人になりたいかの誓いを立てた。「常に感謝の気持ちで忘れることなく、自分も他人も大切にできる大人になる」「人の役にたち、自分で考え、行動できる大人になる」「周りから信頼されるような人になる」各々が思いを込めた誓いは、これからの人生の指針となる。将来を見据え、人生でよりも一歩前進した自分を感じることでできたはずである。これからはその志を実現するために、一日一日を積み重ねて自己研鑽していくであろう。

二年生はこの立志が節目となるが、誰しも将来のなりたい自分の姿を想像することは大切なことである。東海中学校の生徒全員がこの先の将来に目標をもち、より豊かな人間性を育んでいくことを期待している。

未来を創る皆さんへ

父母教師会会長

中学卒業を迎える皆さんにとって、新たな章が始まります。この素晴らしい旅路の始まりに立ち会えることを心から嬉しく思ひます。

中学時代は、学び、成長し、絆を築く大切な時間でした。たくさんの思い出があることでしよう。友情や努力、挑戦や成功、そして失敗からの学び。これらすべてが、皆さんの今後の人生の礎となります。

将来に向けての道は、必ずしも簡単ではありません。挑戦や困難に直面することもあるでしょう。しかし、中学で培った知識や経験、そして周りの人々から学んだことを心に留めてください。自信をもち、勇気をもって前進してください。

また、この旅路で忘れないで欲しいことがあります。それは、周りの人々への感謝です。先生方や友人たち、そして家族に。彼らが皆さんの支えであり、励ましであったことを忘れないでください。そうすればきっと皆さんは将来、次の世代を支える立派な立場になつていくことでしょう。

最後に、皆さんにとって明るい未来が訪れることを心から願っています。自分自身を信じ、自らの人生を歩んで行く姿をこれからも楽しみに見させていただきます。

東海中PTAだより

東海中PTA
広報委員会
第223号

今年度のPTA活動を振り返って

安全指導委員長

今年初めてPTA役員となり一年間委員長を務めさせていただきました。委員長を引き受けたものの始めは正直言って右も左も分からない状態でした。そんな私を先生方や、保護者の皆様、そして委員会の皆様が温かく支えてくださいました。本当にありがとうございました。

交通指導委員会の主な活動内容ですが、月二回の朝の交通安全立哨です。学校へ行くためにはどうしても危険な道路を通学しなければなりません。そういった通学路に立ち生徒に安全を呼びかけることでより安全な通学路の確保に努めました。行事の活動については体育大会の駐車場整理やマラソン大会の交通指導を

行い事前に委員会を開き先生方、理事の方々と打ち合わせして円滑に活動することができました。

この一年、子供達の成長する姿を間近で見ることができ、私も充実した活動を進めることができました。一年間ありがとうございました。

広報委員長

私は、この一年間、正直、なかなかPTA活動に参加することができず、他の役員さん達にお任せすることが多かったです。役員に決まった直後は、できる限り参加しようと思いましたが、様々な事情により行事に参加することができず、役員の皆様方には多大なご迷惑をかけてしまった一年間でした。理事、役員の皆様方、本当にありがとうございました。

文化教養委員長

文化教養には言語、哲学、宗教、文学、芸術、道徳、社会、民族など、さまざまな分野があります。文化教養を学び知ること、人間の精神を豊かにして自分の人生を楽しんだり、物事に対する理解力や創造力を高めたりすることにつながるのです。

本を読んだり、映画を見たり、音楽を聴いたり、美術館や博物館に行ったり、旅行をしたり、人と話をしたりすることなど、日常生活の中で文化に触れることは大切です。自分の文化だけではなく、他の文化にも敬意をもち、学び合うことで、より豊かな教養を築き、社会貢献にも繋がります。

PTA文化教養部として本年度は「ヨガ講座」を行いました。それ自体は満足度も高く良かったのですが、今後は、先に記した内容を踏まえたより子どもたちの教育や文化に関する企画運営が行われることを願っております。また、文化教養委員の在り方を見直すべき時期であることを強く感じました。一年間ありがとうございました。

生活環境委員長

生活環境委員では六月にテニスコート周辺と、九月に体育大会時の駐車場整備として草刈りを行いました。両日ともとても暑い中での作業でしたが、委員、おやじの会、ボランティアの皆さんが額に汗を浮かべながら頑張ったお陰ですっきりとした環境に整えることができました。本当にありがとうございました。

またこの一年間PTA役員を務めさせて頂き、体育大会、文化祭、マラソン大会など多くの行事で生徒が明るく元気に躍動する場を間近で見ることができたのと同時に、改めてこれらの行事は教職員、PTA役員、理事、保護者の皆様の支えの上で成り立っているということに気が付くことができ、とても貴重な経験となりました。

今年一年間のPTA会員、先生方の支えに感謝を申し上げると同時に、今後も生徒みんなが笑顔で学校生活を送る支えとして、引き続きPTA活動へのご協力をお願いしたいと思います。